

国史跡スクモ塚古墳の発掘調査の実施 及び地中探査の現地公開について

標記のことについて、下記のとおり発掘調査を実施しますので情報提供します。また、発掘調査にあわせて実施する地中探査の現地公開を行いますので、取材いただきますようご案内します。

記

【発掘調査に関する情報提供】

- (1) 日 時 令和元年 10 月 2 日～令和元年 12 月中旬（予定）
- (2) 場 所 スクモ塚古墳／久城町
- (3) 調査概要 益田市教育委員会では、スクモ塚古墳の範囲・内容確認調査を平成 28 年度から実施している。令和元年度は、東京工業大学の協力を得て、地中レーダー探査・磁気探査及び発掘調査を行う計画としている。発掘調査は、古墳の構造や墳形、造られた年代を明らかにすることを目的として実施する。
- (4) そ の 他 発掘調査の成果については、調査の終盤に報道機関向けの現地説明会及び市民向けの現地説明会を開催しますので、別途ご案内します。

【地中探査の現地公開の案内】

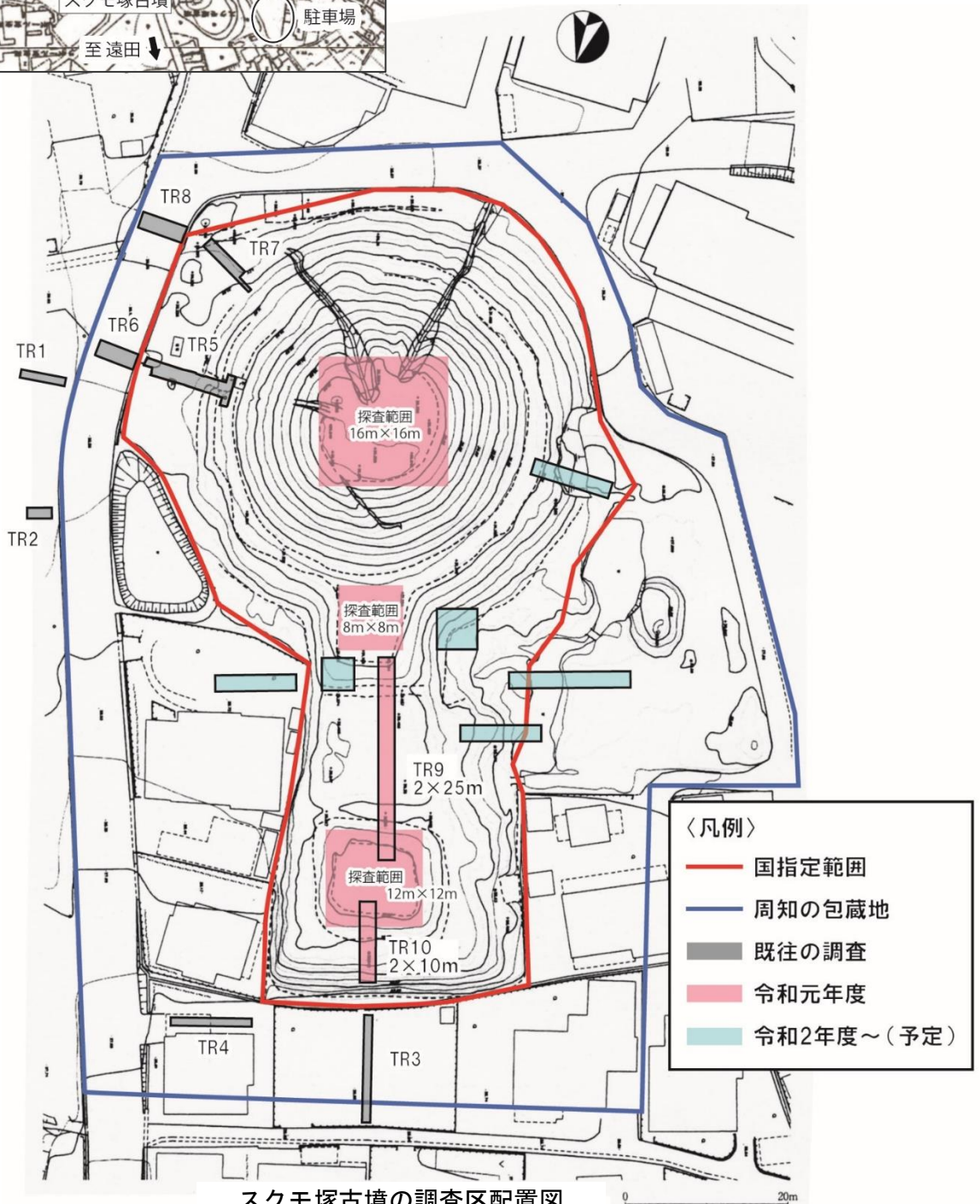
- (1) 日 時 令和元年 10 月 4 日（金）13：00～14：00
※少雨決行（荒天の場合は翌日に延期）
- (2) 場 所 スクモ塚古墳／久城町
- (3) 調 査 者 東京工業大学博物館 亀井宏行 特任教授
- (4) 探査目的 発掘調査に先立って地中レーダー探査及び磁気探査を実施し、遺構の位置や深さ、規模等の情報を得る。

スクモ塚古墳の概要

古墳時代中期（5 世紀）に築造された、全長約 60m の造り出し付円墳。石見地方を代表する大型古墳として、昭和 16 年に国史跡に指定された。三角縁神獣鏡が出土した四塚山古墳（下本郷町）や大元 1 号墳（遠田町）に次いで造られた、益田地域を治めた首長墓の一つと考えられている。国史跡でありながら墳形が特定されていない珍しい古墳で、全長 100m の前方後円墳とする説もあり、その場合は県内で最大の前方後円墳となる。



スクモ塚古墳の周辺図



スクモ塚古墳の調査区配置図